

第12回市民ふれあいトークー地域力を活かすまちづくりー

日時 平成22年6月1日 18:30~20:00

場所 倉敷東公民館

〈市長〉

今日は夕方の大変お忙しい時間帯に市民ふれあいトークにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

ふれあいトークは、昨年度までは大きく地区ごとに開催をし一巡をいたしまして、その後、どのようにふれあいトークをやっているかと検討したところ、各地区にあります中学校区単位の公民館で開催をしたらどうかということになりました。今日がその記念すべき第一回目の公民館単位での開催となっております。最初に私のほうから少し市政の状況などにつきましてご報告をさせていただきます、みなさんからのご意見やご質問をいただくと、そういう感じで進んでおりますので、宜しくお願い致します。

それでは最初に少しご報告などをさせていただきたいと思います。実は、私は今、東京の出張から帰って参りまして、その出張の内容が倉敷市の美観地区周辺が全国国土交通省の都市景観大賞大臣賞をいただきましたので、その表彰を受けに行ってきたところです。全国の中で倉敷ともう1つ、山形県の町が選んでいただきまして大変有難いと思っております。その美観地区を中心とする周辺ということでございますけど、今日この公民館で地域のなかでみなさんと「地域力を活かすまちづくり」というテーマで意見交換をしていきたいと思いますが、最近の一番の大きな出来事はなんといっても倉敷駅周辺のことであろうと思います。最初に駅ビルのこと、それから駅の北のチボリ公園の跡地開発のこと等について少しご報告をさせていただきたいと思います。

まず、駅の北のチボリ公園の跡地でございますが、大変残念なことです、一昨年の末に閉園をいたしまして、県との間でずっと交渉をしてきましたが、最終的には閉じざるを得ないということでありました。その後倉敷市としては、もしも閉じた場合には、クラブウさんから土地を譲っていただいて、緑の場所を確保していきたいということをおりました。そののち景気の状態がありましてどういうふうに進んでいくのかと心配をしていたわけですが、地主のクラブウさんが、発祥の地の倉敷の駅前なので、早く何とか前に進むようにしたいということとずっと検討していただきまして、いろいろな開発業者の方からの提案があったと伺っていましたが、昨年8月末に、イトーヨーカ堂さんが全体の開発の主体になることが決まりました。その後クラブウさんとの間で市に対して公園の部分の土地を売っていただけないかと交渉してきて、今年度に入りまして駅の前に近い方の1ヘクタールを市の方に売りましょう、ということになりました。そして倉敷市としてはその駅前に近い方の場所から真ん中の倉敷用水の所の部分を緑道の公園にしていきたいと思っており、お近くのみなさんに散歩していただいたり、それからチボリ公園がなくなりましたことにより、駅の北の地域の避難場所として大きな公園がなくなっていたので、そういう意味からも公園の場所を確保したいということをお願いしてきておりましたが、なんとかクラブウさんに譲っていただけることになりました。

そして、4月にイトーヨーカ堂さんが商業の相手方のアウトレットの部分として三井不動産さんに決定したということが発表になったことが今までの大きな流れでございます。

その中で倉敷市としては、倉敷の駅前としてふさわしいものにしていきたいと思っていますので協力をお願いしたいということと、それから景観の部分などに配慮していただきたいということ、それからもちろん一番は地域のみなさん方に交通の部分や排気ガスの部分などご負担をかけないように交通渋滞の部分などをしっかりと協議をするようにと申し入れをしています。

一方、先日4月6日に倉敷駅の駅ビルの3階以上の部分が撤退をするという発表がありました。この発表は市の方でもホテル倉敷さんが経営状況が厳しいということは伺っていましたが、まさか上の方を全部やめられるとは思っていませんでしたので、市としてはびっくりしたわけですが、ビル全体がJRさんとJRさんのビル管理会社の経営になっております。それ以降、市民のみなさんから倉敷の駅ビルが壊れるので、非常にまちが心配だという話を聞いております。私も大変心配をしまして、残念であるわけですが、JRさんから話の説明を伺いましたところ、一番にはホテルの経営が厳しいということがありました。厳しいというのは、出来てから30年ほど経っているのをこれを改装をしていくとなると、かなりお金がかかるということを言われました。それから、倉敷駅の高架は、ぜひやりたいと思っていられるわけです。倉敷市もそうですし、JRもそうですし、岡山県もそう思っているのですが、岡山県がお金がないということで、なかなか進んでないというのが現状です。JRとしては高架を進めていきたいと言っております。例えば、今の駅を全面的に綺麗に奮発して改装をすると、当然そのビルを今から何十年も使うことになるだろうと思います。今の高架の計画としては駅ビルを全部壊して上げることになっておりますので、そうすると駅の高架がなかなか進まないということになってしまいうわけでありまして。それが全面的な理由とはJRさんは言われてはませんが、やはり今の時点では経営が厳しいので「何とか最小の力で並行でやっていって高架に備えていきたい」ということを言われておりました。二階の通路の上のところから壊していかれることとなります。ただ、その壊し方とか時期については来年以降ということになりますが、多くの方が行き来をされる場所でありまして、今度、駅北にはイトーヨーカ堂の施設も出来るということで通行の影響がでないように、このビルの上の部分の減築工事に際しては、非常に気を遣ってやっていきたいといわれておりました。

そして、現在の鉄道高架の計画では駅ビルも全部入った計画になっておりまして、大変大きな金額の計画になっております。それをこの度JRさんがご自分のご都合でビルを低くして下さるということになりましたので前提の部分が変わってくるので、見直しをしていきたいと思っています。一年で払うわけではありません。今のところ大変大きな金額の600億円近くの金額ですが、もちろん倉敷市としては600億円でも、分割払いをしてでもいいので、うちの分は払いますと言っていますが、それが少なくとも駅ビルの部分でまず何十億かは減ります。

それも含めて全体について、高架（する箇所として国による着工準備採択）の決定がされましてから10何年程経っていますが、その間にチボリがなくなったり、駅の北がこうなったりとか、いろいろ状況が変わってきたので、倉敷市と県との間でもう一回協議をしていきたいと思っている状況であります。

さて今、駅の北にイトーヨーカ堂さんが来年の冬の商戦に間に合うようにお店を造るようにしたいと言われております。それに向けて、1番大きなのが交通の面だと思えます。

寿町の踏み切り的问题があります。今あそこにどのくらいの車が来るのかという計算をイトーヨーカ堂さんがしているわけですが、それで台数の計算をして警察との間の協議をして、交通整理をどのようにするかをされるということになっています。今、倉敷市と岡山県と JR さんの方で、寿町の踏み切りを来年の秋のまでに、とりあえず少し拡張をできるようにと協議をしております。まだ出来るとは決まってはいませんが、倉敷駅の前の東、天満屋さんの方を区画整理でご協力をいただきまして、駅北から真っ直ぐに越えるようにと進めておりますが、その部分をまず踏切から旧二号のほうに繋がることをやっていたいと思っているのが今の状況です。

この駅の北にチボリ公園時には、多いときは300万人くらいいらっしゃっていました。今度アウトレットとかが来られたときの人数はどれくらいか言われていませんが、同等かそれ以上の方がいらっしゃるのではないかと思います。その方たちに駅の南の方とにかく来てもらって、倉敷市内を回遊してもらいたいと思っています。ですのでその踏み切りもそうですし、駅の北と南、天満屋さんや東ビル西ビル、合わせて駅の北と南のみなさんたちと協力して、沢山くる方が、南の方に来てもらえるような取り組みをしていきたいと思っています。具体的にはまだこれから地域のみなさまや商業者のみなさまや商店街のみなさまとご相談をして、そういうふうにしていきたいと思っているのが今の現状であります。

とりあえず一番最近のこととして駅ビルと駅の北のイトーヨーカ堂のことについて少しお話をさせていただきました。この倉敷の街中の地区は、中心市街地の活性化計画というものが、三月末に内閣府の方から承認をいただきまして、倉敷市の真ん中のとにかく中心の顔になる場所です。だからいろんな活性をしていきましょう、それに対して国も協力をしますよ、という地域に認定をいただきました。それもあって、今日大臣賞もいただいて、もっとこ入れをしていきなさいということだったんだと思います。

今日は短い時間ではございますが、皆様方から、この地域について自分達はどう思っているのか、どこをもっと改良していったらいいとか教えていただきまして、私が今考えていることとお話できることがあればお話をしていきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。

《参加者A》

チボリの跡地の問題で、市長さんがおっしゃったようにチボリのピーク時の年間300万人、それがイトーヨーカ堂さんを中心として300万人くらいで旧市街地や美観地区のほうに回遊するという構想をお持ちなのだという風に私は理解しましたが、本当にヨーカ堂さんが県外客を何回も呼んでリピートするくらいの魅力があるものなのかということところが1番心配で、最悪の場合には中途半端になってしまって、せっかく天満さんが三越の跡地に来られたけれど、両方共倒れになって地元の人が買い物難民とかになってしまったり、また民間でやれるからいいといえいいのですが、数年後には撤退して建設廃材を大量に作ってしまうという、環境最先端都市と市長さんは大きなアドバルーンを上げられているのですが、そういう風にならないための方策が腹案としてあるのかないのか、他の皆さんもどう考えられているのかちょっと心配になりましたので。

《市長》

イトーヨーカ堂が来られるが、うまくいくのかが心配ということがあります。まず地主のクラブウさんには、何社からも提案があったと伺っております。その中でクラブウさんとしては、倉敷に1番ためになるような会社や計画（イトーヨーカ堂）を選んだと言われております。それは倉敷の情報発信もするし、倉敷だけではなくて、ここは瀬戸内海、日本海、そして太平洋に通ずる交通の拠点の場所ですし、3つの海と中国四国山脈に囲まれた拠点でもあるので、そういう観点から人が来てもらえるようなこと中核に上げられていられると聞いております。

それから、もし撤退されたら、ということですが、私も心配だったので聞いてみたのですが、クラブウさんとイトーヨーカ堂さんの間では20年間の契約をされているということでしたので、できる前から撤退の話はしたくはないのですが、そう簡単に撤退をされないとは思っております。とにかく撤退されないようかつ、天満屋さんにも頑張ってもらえるよう、また駅の周りがよくなるように、皆さまから頂く意見もイトーヨーカ堂にも地主のクラブウさんにもお伝えし、三井アウトレットパークも今のところ全国に集客力がありますので、そのあたり合わせてうまくいくように頑張っていきたいと思っております。一応撤退しにくいような仕組みにはなっていると伺っております。

《参加者A》

関連した質問ですが、契約は20年ということですが、民間会社なら違約金を払ってでも数年で見込みがなければ撤退すると思うのですが、本当に中四山陰を含めた視点でレポート客が300万人くるかどうか、ほんとうに腹案があるのか念を押しておきたいのですが。

《市長》

私も事業主体ではないので、必ず何百万人とは言いきいのですが、一番心配しているのは、込み合って非常に交通渋滞になり、みなさんにご迷惑をかけてしまうのではないかとということが一番心配なんです。とにかくうまくいくようにしたいと思っておりますし、一方で地域のみなさん達にすごい負担がかからないようにしたいと思っております。今日の話も事業主体の方へしっかり伝えていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

《参加者B》

今日、3つお伺いしたいことがございます。3つある一つ目は、駅前に住んでいる人間としては駅ビルのニュースは非常にショックでした。3階から上が無くなるというのは景観的にもひどく不安ですし、市長さんの努力もあってか、最近街中を見ても外国人の観光客が増えていらっしゃると思うのですが、JRさんとか東京の方ですが駅ビルの中に店をたくさん作ったりしています。駅中でなくても倉敷の駅に隣接した一等地ですので、本当に玄関の玄関であるところが非常に今、衰退した印象があります。せっかくアウトレットモールが来られてもイトーヨーカ堂さんも全国展開をされているところで、倉敷ならではのカラーが出ないと思っております。まちづくりで美観地区の景観等を頑張っていたり、ま

た天満屋さんもこられて頑張っているから、それを応援するような形の、例えば、駅前にお店を出されました桃太郎ジーンズさんのように、倉敷が誇れるような、全国、全世界に向けて発信したいようなお店を集めて、そこをショッピングモールにしていく、また天満屋さんとも連携も図る。そういったことはいかかなものかとの数日考えていました。

もう一つ目は、子どものことについてなのですが、障害のある子を育てていて思うのは、色々はまだ不備な面もあります。相談をしに行くのもどこにどうしたらいいのかとか、例えばネットワークがNPOさんだったりとか、知的障害をもった方とかいっぱいあると思うが、情報が一括してまとめて提案されるとか、その子その子に応じた対応をされるとか、川大にも専門のところがあります。また、イギリスなどでは今生まれてくる子の3分の1が、そういった障害を持った子ども達だという認識がありまして、政府の方が予算をかけて、特殊特別な教育を熱心にされております。日本はそういったことに立ち遅れていると思うのですが、伊東市長は子供のことに非常に力を入れられるということで、そういったのを倉敷発でされてもいいのではないかとすごく思うんですね。どこよりも全国に率先して成功モデルとして、子どもたちが住みやすいまち、お母さん方へのサポートがあるまちになっていって、全国への認知度が広まりますと、特に倉敷駅周りというのは高齢化、空洞化が進んでます、そこにもう一度若い人たちを呼び集めて戻していかないと将来的には子どもの数が減っていくのですから、人が一番財産だと思うんです。だからいかに倉敷市の中心部を中心に沢山の人が住めるまちにしていくかというのを是非お願いしたいと思います。

あと3点目は、阿知3丁目の新しい計画が、今ストップしているという話を聞いたのですが、あそこも放置しておく治安の悪化や、高齢化で空き家の増加もあるので、駅からすぐの所ですし、美観地区に続くところでもありますので、そういったところも市も積極的に協力して、そこにこどもの拠点となるようなものとか、お年を召した方の介護サービスとかもあると思いますが、病院ではなくて、健康でいるためのセンターみたいな、健康に暮らせるような、そういった施設を兼ね備えて、若い方からお年寄りの方までが元気に暮らせるようなまちづくりをしていただきたいと思いました。

《市長》

ありがとうございました。3つとも大変重要な今のトピックスだと思います。駅ビルが無くなるのが心配だということをみなさんによく言われます。

駅の機能に支障が無いように徐々に壊すということと、それから市の方から皆さんのご意見を受けて JR に言っているのが、三階以上を取った後の駅の形が単にカットしただけのようなものではなくて、倉敷の駅にふさわしいような外観にしてみたいということ要望をしております。

それから東京なんかでは、駅の中、改札の中にいろんな店が入っているところはかなりありますが、岡山県では、そういうところはあまりないと思いますが、きっと、これから JR さんが駅を作るときには駅の中の商店とかを検討していくのではないかとはいえます。これもまだ決まっていますが、今、倉敷市が駅の周辺で事業者のイトーヨーカ堂さんに言っているのは、子育ての支援をするような機能を新しく駅の北にできる施設の中に、是

非入れてもらいたいことです。それがどういう形になるのかは、今からイトーヨーカ堂と市との間でも協議をしていくのですが、駅前で何千人かが働られることになると思います。お母さんも沢山いらっしやると思うんですね。例えば、子どもさんをそこで預けて仕事をして帰るですとか、電車で通うお母さん達がそこに預けれるようにするとか、もしくは子育ての支援の情報を発信するとか、そういうことを何とか一緒に出来ないかというふうに思って、今相談をしているところです。

おっしゃるように西日本のモデルになるようなものを、イトーヨーカ堂さんもまだ全国でやったことがないらしいので、今回の部分をモデルケースにして、一緒にやりましようと言っているところです。

全国画一のイトーヨーカ堂さんのお店ではなくて、倉敷らしいイトーヨーカ堂のお店にしてもらいたいと強く言っております。もちろん全国展開のものも入ると思いますが、倉敷市内の特産や名産の情報発信も含めてお願いしております、前向きに検討していただいていると私は受け止めております。

阿知3丁目の開発ですが、今のところなかなか進んでおりません。というのは、阿知3丁目は、事業主体が市ではなくて準備組合がされております。その作っておられる計画に対して市が多く補助金を出す計画になるので、それが本当に採算がとれる計画かどうかという見直しを今、行っているところです。ただ、前に進まないような状況になっておりまして、ご心配をいただいていると思うのですが、準備組合のみなさまと積極的に検討して前に進むようにやっていきたいと思っています。全般的な話しになって恐縮ですが、今はそう考えています。

《参加者B》

今の市長のお話を伺っていますと、素晴らしい計画ですが、全部イトーヨーカ堂さんということですが、地元の力や地元にある子育て支援とかを使えないのかなと思うのと、それから全部駅の北側で今、駅の南がすごく疲弊していると思うんですがそこについてはどのようにお考えですか。

《市長》

イトーヨーカ堂さんに全部やってくださいとお願いしているのではなくて、普通はそういう機能を商業施設の中に入れていないそうなんです。でも、それを入れてもらいたいということをお願いしています。その組み合わせをどうするかは、イトーヨーカ堂に全部やってくださいというのではなく、倉敷市に今ある子育て機能などとうまく組み合わせたいなと思っています。まずは施設の中にそういう機能をおいていいと言ってもらわないと次にかねないのです。まずその段階となっています。そうなれば地域の力も活用するような交渉をしたいなと思っています。

駅の南に商店街のみなさんから、商店街の活性化という面で子どもさんの施設を、というお話をいただきましたので、市の方でも協力して、今のところ一箇所なんですけど、子育て広場ができております。もうちょっと子どもさんに関するものが南の方でも進めればいいなと思っています。今のところは那一箇所です。

《参加者C》

チボリの跡地ですが、昔駐車場があった方に片側だけ歩道を広く取っています。その歩道を両側に作る計画はありますか。

私の主人は目が不自由なので、散歩するにもかなり大回りしないといけない。両方に歩道があってほしいわけです。以前はチボリがあったので中を散歩していたが、今は外を歩かないといけません。外は途中で緑道公園がありますが、犬の散歩コースになっていて、犬の糞だらけになっています。緑道公園に行くまでの道も大回りしないといけないし、東中学校に行くまでの歩道が自転車にしても歩くにしても、段差がすごいんです。雨の日がすごく危なく感じるので、この歩道を平らというかなだらかにできないか。万寿小学校に行くまでが。翠松高校もあります東中もありますね。そこを子ども達が通るわけですね。歩道が歩道になっていません。

《市長》

ありがとうございました。まず、緑道ですが、倉敷用水の両側を緑道にしたいと今のところ思っています。一方向で300m ちょっとなので、両方で600mほどになります。その緑道の整備を市の方でしたいと思っています。なぜならば市の土地だからです。今、おっしゃっていただいた周りの部分については、市でもイトーヨーカ堂に周りの道をとってもらいたいという話をしています。歩道を最小限こうしなさいというのがありまして、それは、今の状態でも満たしているわけですが、それ以上にヨーカ堂がしてくれるかどうかはまだ未定なんです。市としては周りをぐるっと歩けるようなものかつ、周りも緑が植わっているようなものにしてもらいたいとお願いをしていますが、まだ、ヨーカドーからは返事を貰っていないという状況です。

《参加者C》

あの道は県道なのですか。

《まちづくり部》

東西の道路は市道です。

《参加者C》

市道ですね。市道にしては片側だけあれだけ広い歩道があって、チボリの横の道は自転車を通れるほどの、道は50センチほどで、人は絶対歩けません。それを考えていただきたいのです。市道なら市の管轄で出来ますからね。

《まちづくり部》

私どももヨーカ堂のほうに敷地をできれば後退して欲しいとお願いしています。

《市長》

はい、しっかり要望して参ります。

《参加者D》

チボリ公園の件についてはもう終わったことなのでいまさら言っても仕方ないんですが、1 つだけ聞かせていただきたいのですが、確かに130億という有利子負債はあったのですが、かたや160億という積み立てがあって、なんでそれを取締役会では減資をしようとか、そういう話がなかったのか、それがあつたら有利子負債はゼロになるし、等価交換という方法もあるようなことを言われていたはずだが、それらは知事を始め、いっさい無視をされましたが、潰そうとして潰した公園としか思えない。それを一点教えていただきたいのと、ルブランがこのようなになった後は、高架事業に対しては市長はプラスと考えるか、マイナスと考えるでしょうか。

来年の一月一日から営業を停止されるわけですから、駅の南地区を活性化しようと思つたら一体どんな方策があるか。活性化するという事は多くの人が集まって、憩えて楽しむ場所を作ることが活性化だと思うので、ある程度仕掛けを作らなければいけない。

12月になると一昨年まではチボリ公園でクリスマスツリーがあつてそれを目当てにお客がきた。駅南の真ん中に塔がたっているのがクリスマスツリーになると思う。これは短期的なことで、長期的なことでは、高架事業ができるのであれば東西ビルをつぶしてしまえばいいと思います。真ん中にセントラルビルを建てて、上をマンションにしまえばいい。ある程度マンションの販売益で賄えるだろう。市のある程度の部署も駅前に移動させたらいいし、医療モールみたいなものをつくれればいいし、地下も駐車場にしまえばいい。これは荒唐無稽な話しですが、そういうことを考えていただきたい。

あと、市の花である「ふじ」が阿智神社にある「阿知の藤」は、日本最古の「あけぼの藤」で、県の特別天然記念物になっていますが、県はお金がない、市もお金がないで。でも、私は会長をしていて、県の方は両備さんとか福武さんとかから、お金をもらってきますが、市のほうは、「特別にそこだけお金をあげることはできない」という。市の花の由縁というのはあれなのだから、年間10万ほどでいいのでずっといただけないでしょうか。今はぼくらが出し合つて剪定をしています。100万もらったので、樹医の方に高梁から来てもらっていますが、もう底をつきました。剪定代が何とかならないかと思っています。年間1万円ずつでも。水島にある南備園芸さんを巻き込んでいるから、安く10万ほどにしてもらっているけど、本当は50万も60万もする。駅前のことと阿知の藤のこと、宜しく願います。

《市長》

まずはチボリのことで、取締役会の中でも、いろいろな意見が出ましたが、先行きがとにかく難しいということが一番の原因だったと思います。今後難しいというものを、その後引き継いで市で全部やられますかと言われてもなかなか難しいわけです。県がどうやっても黒字になるのは無理だという判断をされたというのが一番大きな原因かなと思います。市としても残念なわけですが。

駅のルブランのことですが、プラスかマイナスかという、もちろん両方あるわけです。まずは、大変残念だと思います。私も本当にびっくりしましたし、厳しいとは聞きましたが、まさかこんなに早く廃止を言われるとは思っていませんでした。心配だなとは当然思いますが、一方でうまくいい方向に行けば、高架についても進みやすくなるということ

にも。JRとか県とか、お金が無い中で、お金も出しやすくなるとか検討しやすくなるとか、廃止がうまくいい方向に話がすすめばいいなあ、という思いはあります。

それで、南の活性化で何かできないかということです。小さいことになるかもしれませんが、市としては去年の年末に旧いづたやさんの跡地を買いました。あの建物を取り壊して景観を何とかしたいと思ひまして、ずっと通行客のみなさんとか地域のみなさんからも言われていて、市との間で裁判もあって、時間がかかっていましたが、あそこで市が買わないと前に進まないと思ひ市が買ひまして、今はとりあえず更地にして、ちょっとした公園にしています。あそこなんかも使いたいと思ひています。駅の南のことも来年の年末までの間にみなさんと一緒に検討していきたくと思ひます。少しずつ何かやればいいなと思ひます。

阿知の藤については、もう一回いろいろ勉強してみます。

そこまでしか言えませんがみなさんのご協力により守られているのはよく存じ上げています。

《参加者 E》

鉄道高架の問題。市の方には鉄道に詳しい人が、おられないのではないかと思ひんです。岡山駅の西口がものすごく今活性化しました。JRさんも力を入れて、ものすごく変わってます。倉敷はだんだん寂れていく。南もですが、駅の北が非常に寂れている。今回イトーヨーカ堂さんが来られますのでいいと思ひますけれども。

高架もすると言われてもう十年できませんが、市長さんに期待しています。できることから決断をもって、多少金がいってもこの際香織市長がおられる間にやっていただきゃいいと。国交省との交渉等もやっとなされるんだと思ひんですが、お金の方ももらってきてもらって。誰が市長をやっても難しいことはわかっていますが是非とも願ひします。

それから平田の方へ、旧2号と山陽本線の下を通過してイオン通りの方へ出る道がなかなかできないわけですね。それから浅原の方からこっちへ来る道もまだできていません。やはり活性化に繋がると思ひんです。南北の道でございますから。南の人が北へ行くにも、北の人が南へ行くにも困ると。万寿の踏み切りはすぐに止まってしまいますんで、その点をお願ひします。

《市長》

鉄道高架は国の方としては平成10年に高架をする場所だと決めてくださって、そこから、なかなか進んでおりません。前の前の中田市長さんの時に、鉄道高架を本腰を入れてやらなければいけないということで、有安助役さん、それで神田助役さん。今は助役さんではないのですが、内田技監といいまして、技術の方を国交省から来てもらっています。ちょっと一時途絶えたんですけれども。私が就任をいたしまして、国交省に挨拶に行きましたら、やっとな本腰に市の方から市長が（国交省に）来た。市長になって国交省に何回行ったか覚えていませんが。もちろん国交省からも技術の人に来ていただいています。Eさんが言われるようになかなか鉄道を上げるというのは、専門の技術の人がいないので、どうしても国交省から来ていただいたり、うちと県とかから国交省に出向して技術をもたらしてきたりということをして今しています。国交省も、倉敷市も鉄道高架を本腰を入れて絶対やり

たいということを表明してくれているんだと思ってくれるようになりまして、あとは県のお金をなんとかしないといかんという段階に来てます。国と市、倉敷市は「分割払いでも必ず払います」と言っています。JRもやりたいと言っている。県はお金ができたらやりましょうということなんで、知事にも会うたびに「お願いします」と言っています。県も少しずつ財政状況よくなっていると聞いていますので、一緒になってやりたいと思っています。

それから、道の件。おっしゃっている生坂二日市線の工事が進んでいますが、何とか今年度、平成 22 年度のうちには開通ができるようにとの思いでやっております。大体できたように見えるんですが、いろいろ工法の関係で、ちょっと時間がかかっている状況ですがなんとか進むように早くやりたいと思っています。

《参加者 F》

私は生まれてからずっと 70 何年ここにいます。だから倉敷市の成り行きは小さい時から知っていますが、戦後になってくると駅南がどんどん発達して、特に公共施設のほとんど南の方に集中しています。これは市の責任ではなく、例えば県の警察署とか振興局、県立の高等学校は一切この近くではありません。特に私たちが不便に思いますのは、大きな病院がほとんど南に集中しております。お年よりは北にかなりおるわけで、ほとんどの方は踏み切りを超えていくのにかなり不便を感じています。大型ショッピングセンター、家電センターのほとんどが南です。北はほとんど変わっておりません。今住んでおまして、山陰と山陽のような、山越えしたようなそんな気がします。チボリが来たときには、少しは活性化するかと思ったんですが、実際は交通渋滞で全く逆でした。今度はイトーヨーカ堂さんが来られたらおそらく横へと広がりがあると思いますので、これから市長さんも駅北のことを忘れないで、なにかの機会に医師会とか、企業とか、色々な方面へぜひ誘致するように心と頭の隅へでもおいといてほしいと思います。

《市長》

わかりました。今日第 1 回目（市民ふれあいトーク）を駅の北側で開催したという意気込みもありますので…。確かに私なんかより、ずっと町のことを見てくださっていらっしゃって。まちのつくりで、市役所も駅の南で、もっと南に移転しましたから、土地の面、道の面で造りやすさがあつたと思うのですが、さっき言いましたが、道路、高架などが進むことによって、通路ができたらすいぶん変わると私は思います。先ほどおっしゃってました岡山駅のことですが、駅というのは非常にその町の発展にとって重要なことだと思います。なので、駅周辺、北も、南も寂れたと商店街の方も言われるので、駅の周りを中心としてうまく発展するようにという思いで。特に北のことについてはしっかり頭の中に入っております。ありがとうございました。

《参加者 G》

やっぱり地のりが大切だということはよくわかっていますけれども、天の利と人の輪も、活性化するには欠くべからざるものでございます。倉敷の歴史をひもときますと、明治時代に大原家がクラボウをつくられて、農業圏から工業圏へと。50 年前に倉敷コンビナ

ートを作られて、この50年間で倉敷の経済は飛躍的に発展しまして、その経済的余力でいろんな過剰投資をされて今日をつくりました。ちょうど20年前に、鄧小平が上海の浦東地区を開発して外国資本を導入しました。これから倉敷が発展するためには、日本の国力がどんどん落ちていきますので外資を。特に中国人はこれから日本人よりリッチになります。富裕層はお金が余って日本で使い切ると思います。観光、それから健康のトラベルとか、合弁企業をですね。特区をぜひ作られて。彼らが投資して、お金をもってきてどんどん使ってくれるような条件整備をされるほうが。これには色々な国、県ともに根回しをして計画的にやらなければいけないと思いますが。そういうことで目先のことも当然大切ですが、10年先のことを考えて倉敷の大きな発展のために民間整備をされたらいかかと思えます。そのためには老人の過去の経歴、人脈を活用するようなことをされてはいかかでしょうか。

《市長》

倉敷の歴史的な特徴、それから外国資本ですね。実は先月末に倉敷市の友好都市の中国の鎮江市、黒酢のですね、そこへ3日間ほど行ってまいりました。その2週間後に中国の方達がこちらへ来られましたが、私がびっくりしたのは、向こうの会社の社長さんが何人か来られましたが「日本では本物が売っている。中国では偽物を売っている。だから日本でモノを買わんといかん」ということで、日本の化粧品で確か5万円位するクリームとかを6個と3万円のを5個とか、倉敷で買っていかれてびっくりしたんです。Gさんがおっしゃるように中国のお金持ちの購買力はすごいし、人口が多いので少しでもきてくれれば経済にずいぶん影響があると思えます。外資というか外国人の方がもっと来てもらいやすいような、それは買い物とか今言ってくださった健康とかですね。倉敷市の病院はとていいので、外国の人にもそれが通じて、李登輝さんが中央病院に来られて心臓治療をされたというようなことが、もっと広がるようなものができればいいなと確かに思います。いいご意見を大変ありがとうございます。それから、私どもの人生の先輩方のお力を活用というのは、大変恐縮でございますが、ご協力いただいて地域の力を高めていく、それぞれが先ず自分ができることから少しずつやっていただければ、大変有難いと思えます。また、市から呼びかけ、お願いすることも結構あると思えますので、それにもご協力していただければ、先輩方のお力をお借りしていいまちにしていければと思えます。

《参加者 G》

事業仕分けを先にしなきゃいけない、してください。

《市長》

事業仕分けについては、だぶっている事業などはもちろん見直ししていかなければならないと思っています。ただ、それぞれにこれまでの経緯、理由もあると思うんですが、うまく統合したり合併したりして、なるべく効率が上がるようにしたいと思っています。

《参加者 H》

テーマの「地域力を活かすまちづくり」ということですが、市長の考えの地域力とは何

ですか。それを聞かないと話が進まないと思います。

《市長》

私がこの倉敷市に対していいなと思っていることは、それがイコール地域力なんですけど、倉敷市のいいところは、農業、水島コンビナートの工業、観光産業と、非常に各産業のバランスがとれているところだと思います。それも大きな面でいえば地域力だと思いますし、それから各地域、例えば倉敷の地域の個性とかそれから、観光だったり産業だったり、地域でみなさんたちが活動していただいている各々の活動がまちの活性化に繋がっていく・・・もちろん定義はないんですが、それぞれの方の取り方によって地域力というのはあると思うんですが、私が思っているのはそのまちの力がアップしていくことに繋がっていくこと、今日みなさんにお伺いしたいのはそのことで、もっとこうしたらいいとかを言っていただきたい、ですから、かちつとした定義ということではないんです。

《参加者 H》

例えば、さっき言われた3百万人の人間が来て、どういうふうに移動することを想定しているのでしょうか。例えば車で移動するにしても、踏み切りを広げようが何しようが駅前前の道があんなに狭かったらどうにもならない。いろんな荷物を降ろしたり人の行き交いもあるので。それから、僕は初めて倉敷に来たとき、非常にびっくりしたのが、美観地区まですごく遠いんです。歩いている間に飽きちゃって、美観地区に着いたときには疲れちゃって楽しめない。駅前からきちんと美観地区まで繋がるまでのストーリーを作っていたほうがいいのかと思うんですけど、その辺をどう考えているか教えてください。

《市長》

イトーヨーカ堂のほうで何百万人来るという報告はまだないのですが、ただ、非常に多くの方がいらっしゃると思います。駅の踏み切りだけを広げたとしてもそれはもちろん根本的な解決方法ではないわけです。まだ誘導路はどうするとは決まっていませんが、駅から来る人もかなり多いと思います。それが、他のアウトレットとか大きな商業施設とはちょっと違うところだというふうにイトーヨーカ堂さんは言っていました。車で来る人も多いと思いますが、敷地の中の駐車場ももちろんあるわけですが、そこではなく別の場所で駐車場の確保、例えば、チボリができたときには確かイオンさんの近くに駐車場があって、そこからピストン輸送をしていたと思うのですが、そういうものを作ってもらえないかということを行っています。車が入って来る量には限界があると思っていますので。そこに全部車がずっといてということにならないようにということをお願いをしているのがひとつです。

それから2つ目に言っていたことは非常に重要なことだと思います。美観地区までの行く道が分かりにくく、途中でどっち行ったらいいかわからないとか、店舗が閉まっていてここから先に行っても何も無いのかなあとって引き返してしまうという話も聞きますので。この駅の周りに来てくださる方たちにうまく美観地区まで歩いていただけるような、若しくは逆に駅の南のほうに車を止めてこっちの駅の北との間に行ったり来てもらえるようなということは今検討しています。それで、市で一番やらなければいけない

のは、サインだと思っています。どっちに行けば何があるか等、非常にまだ足りないと思っているので、それを今回の部分と合わせて街中のサインをやらなければいけないと思います。街中のサインは地面にあってもいいと思ってるんですが、初めての方にとっても分かりやすいようにやっていきたいと思っています。まだ全体像ってわけではありませんが、今おっしゃっていただいたことは非常に重要なことだと思います。

《参加者 I》

先ほど中国の人の話がでましたけど、毎朝散歩していたら中国の方や韓国の人によく会います。バングラディッシュ、イラクの人にもよく最近会います。さっき市長も言われましたけど、だいたい中国の人と韓国の人で平均一人 12 万くらい倉敷で買い物されるということを知ってびっくりしました。聞くと中国、韓国の富裕層の方で、日本のことをよく研究される方でした。「どうして東京に行かずに倉敷に来るんですか。」と聞くと、「インターネットで調べると東京は遊ぶのにはいいけど日本の本当の良さを知るには倉敷みたいに伝統とか文化があると心が休まる。それがほんとの日本のよさじゃないかと。」向こうの方がこちらを説得させるようなことを言われるんですよ。それで思うのですが、外国の人もよくインターネットで調べているので、単なる観光だけでなく体験学習じゃないですけど、行って本当に身になるというのは倉敷みたいなのがいいんじゃないかと彼らも感じてるんじゃないかと思うんです。で、地域力を活かすまちづくりは確かに目先のことにとらわれがちなんですが、5年10年で本当の地域力をつけるための長期のビジョンで自信を持ってやっていただきたいとエールを送りたいです。

それから、さっきイオンとイトーヨーカ堂の話が出ましたが、昔から両者はライバルでものすごい、競争なんです。でも最近の情報を聞くと、関東地区あたりでは同じ場所でイトーヨーカ堂とイオンが同じエリア、土地の中でお互いにたくさんのお客さんを誘致するというので、全体でこのまちをよくしようと考えている。地元の天満屋さんや駅前の商店街などがどうなるのが地元住民としては気にかかることです。ヨーカ堂が出てくるとイオンもものすごく意識すると思います。今300億以上イオンの店ですから。それは相当な力をもってますから。今度も虎視眈々とヨーカ堂を迎え撃つ体制ができていますから。だから地元の商店街の人も含めて、我々市民はもっと従来の店を助けると言えばおこがましいですけど、市民の方から盛り上がるようなまちづくりをしていかなければいけないと思います。去年くらしき音楽祭で何日間も非常に大勢の人がどっから人が集まるのかという位集まりました。ツーデーマーチでも集まったいろいろな人と話をすると、みんなインターネットをよく見ているんです。それに来るために1泊も2泊もして全国の人が来てくれる。今年のゴールデンウィークは美観地区を中心にすごい人だったですね。なんか岡山県は全部ダウンしたのに、倉敷だけは20万以上で多かったんですよ。そういう意味では倉敷市民は自信を持っていいのではないかと思うんですよ。ものづくりも言われたようにジーンズをはじめとしていろんなものがありますし。自分が担当しているものにもっと自信をもって。各地区はもうちょっと協力しあって、それは市長が音頭をとってもらってもっと全員で一致協力できるようなまちづくりをしていきたいなと思います。よろしくおねがいします。

《市長》

おっしゃるとおりだと思います。私もイトーヨーカ堂さんもイオンさんも天満屋さんも地元の商店街も、みんな発展してもらえるように、という気持ちでおります。それから、今言ってくださったように、大変この景気が厳しい中で今年のゴールデンウィークも、今千円の高速道路で大変県外のナンバーの方が来てくださっております。それで増えております。その方たちが倉敷に来てよかったと、また地元に戻ってぜひ言ってもらって、その回りの方にまた来てもらいたいわけです。ですので来てよかったといってもらえるようなまちをみなさんと一緒に作っていきたいと思っています。ツーデーマーチであるとか、今年の秋には国民文化祭がありまして、10月30日から11月6日まで、全国から約1万人くらいの方が来られます。そのときにも倉敷は良かった、と言ってもらえるようなことをみんなで一緒にやっていきたいと思っています。もちろん私も一所懸命発信をいたします。けれども一人だけでは発信力にも限りがありますので、みなさんたちが一人ひとりが、自分のまちを今ほんとに誇りに思えるまちでありますし、そのことを一人ひとりが言ってくだされれば、例えば大阪や東京の親戚にこういうのをやってるのよと言ってくだされれば、それがまたなんかあれば来てみようかということになると思うので。また市民みんなで一緒に地域力を発信していければ良いなと思っています。駅の周りに限らず倉敷市全体として頑張っていきたいと思っております。今日はちょっと時間を超過いたしまして恐縮でございましたけれども、大変活発なご意見をいただきましてありがとうございます。今日は参考になりましたし、しっかり頑張っていきたいと思っています。本当に今日はありがとうございました。